

質問解答

解答

養豚 県畜産課・森谷技師

牧草 県農業改良課 栗山専門技術員

(養豚)

問 「本春3—4月頃子豚を買い入れるとして、1頭価格何千円位でしょうか。」

答 現在一昨年来の豚ブームで、子豚価格も異常な高価を見ており、かなり値下りになりましたがまだ肉豚仔豚で6—7千円、繁殖用の登記豚では8,000—12,000円位していますが、春先には若干下るのではないかとの見通しです。国の示しておる適正価格としては肉豚で4,000円前後と云っています。(森谷)

問 「大体何ヵ月位飼育したら売れるものですか売れる時期の標準体重、何kgで1頭の売値はどれ位しますか。」(新見地方の価格)

答 肉豚は普通、生後約2ヵ月で体重12—13kgのものを6ヵ月間飼育して体重90—100kgになったときが肉豚として一番有利に取り引きされています。現在ですと17,000円前後で売れますが、将来は若干下る見通しで、過去7ヵ月間の平均は白豚上物で約15,000円です。(森谷)

問 「飼育期間中の飼料代(全部購入飼料とした場合)1頭につき、およそ何千円位かかりますか。」

答 購入飼料のみで飼育した場合の各地のデータを見ますと、約8,000円—9,000円程度であります

問 「仔豚買入れについて(始め2—3頭位から飼いたいのです。)何処かよい処がありますでしょうか。」

答 県内では新見市千屋岡山県和牛試験場、津山市大田岡山県酪農試験場で分譲しますが、直接申請してください。別に県経済連、県畜連でも幹施いたします。

問 「養豚の将来について飼料面に自給飼料を取り入れたら利益になるでしょうか。」

答 養豚の将来の見通しは明るいと思いますが、やはり若干の価格変動はありますので農家養豚と

しての強みは自給飼料を中心にとすることだと考えます

九州農業試験場、栗原武氏によれば、枝肉1kg 200円になっても甘藷を主体にした農家養豚は引き合うとしております。

問 「ケージ養豚とはどんなものでしょうか、その是非についてお答えください」

答 最近養豚の企業化とともに神奈川県などで、バタリー養豚だとか、ケージ養豚などがとりあげられ、鶏と同様の多頭飼育が行なわれ、世論をにぎわしております。

養豚用ケージは長野市柳原農協、久保田庄七氏が考案したもので、50×120×75cmの総鉄製(床はフローリング)の檻で、重さ約27kg、仔豚から成豚まで連続して収容できるよう伸縮自在、豚の生長と共に枠が拡張され、飼料の給与も糞尿の採取も自動的にできるようにできており、機械の調節のみで養豚が可能だとしております。信州大学、玉井講師も狭い面積で労力が少なく多頭飼育ができ、しかも衛生的で強弱の争いがなく、疾病の早期発見ができるなど、今なお研究の余地はあるが、非常に好成績だと云っております。しかし運動不足から後軀が細く、前勝ちの豚となり、枝肉の姿が悪く、ロース、ハムの発育が劣り、脂肪が厚いなどの嫌いがあるとされております。そこで自給飼料を中心にした農家養豚の多頭飼育化のためには、むしろ最近デンマーク式豚舎と云われており、普通の豚舎の約2倍余りの広さで、一腹の豚7—8頭を出荷まで収容する方法が良いと思います。これは別に1.3m幅の廊下のような豚の便所を設け、飼槽も長いもの一つで足り、3.3平方m当り、8,000円から10,000円程度の経費でできあがり、清潔で労力がはぶけ、多頭収容するため、適当な運動にもなり、飼料の食い込みも良く、3豚

岡山畜産便り 1961.03

房で20数頭も飼育できるなどの利点があげられております。

岡山畜産便り 1961.03

(牧 草)

問 「牧草地への追肥の仕方（時期・施肥量）についてお教えてください。」

答 県南ではそろそろ牧草も伸び始めておりますが、施肥量は硫安を 10 アール当り 20 kg、尿素なら 10 kg それに過磷酸石灰を 25 kg を万遍なくふりかけて、その後レーキかデスクハローで土の中にまぜてやります。また牛尿を 3—4 倍に薄めたもの 10 アール当り 1,500 kg（約 40 荷）に過磷酸石灰 25 kg をまぜてやっても結構です。牛尿は雨の日にやる場合は生地のままで構いません。

春肥は、これから一年間牧草の生産をあげるためのものですから、是非やるようにしたいものです。県中部はこれから、県北部は 3 月下旬を目標にしますが、追肥時期は牧草の新芽が動き出す頃が一番適期です。（栗山）